

軽防協ニュース速報 号外

2007年8月29日
軽種馬防疫協議会 事務局
(JRA 馬事部防疫課)

国内における馬インフルエンザの発生 (その7)

29日現在の、各主催者における発生状況を以下にまとめた。

ホッカイドウ競馬

16日に旭川競馬場で1頭の陽性馬が確認された後、22日に全頭検査を実施し旭川(744頭)および門別(170頭)在厩馬全馬の陰性を確認したが、27日に再び旭川競馬場で3頭の陽性馬が確認された。27日時点での累計陽性馬は4頭。

岩手県競馬組合

22日に水沢競馬場で3頭の陽性馬が確認されて以降、28日時点での累計陽性馬は47頭。

特別区競馬組合

23日に大井競馬場で4頭の陽性馬が確認された。翌24日には大井競馬場全在厩馬676頭に対して簡易検査を実施し、91頭の陽性馬を確認。27日には小林牧場の全在厩馬176頭に対して簡易検査を実施し、4頭で陽性を確認。28日時点での累計陽性馬は106頭。

石川県

21日までに金沢競馬場で確認されていた117頭の陽性馬は、28日までの再検査で全馬陰性が確認された。

岐阜県地方競馬組合

24日に2頭の陽性馬が確認された笠松競馬場では、その後新たな陽性馬は確認されていない。

愛知県競馬組合

24日・25日に弥富トレーニングセンター全在厩馬622頭に対して簡易検査を実施し、47頭の陽性馬が確認された。

兵庫県競馬組合

22日に2頭の陽性馬が確認された園田競馬場では、29日までに56頭の陽性馬が確認されている。

佐賀県競馬組合

25日に2頭の陽性馬が確認された佐賀競馬場では、28日までに27頭の陽性馬が確認されている。

日本中央競馬会 (JRA)

14日以降28日までに、JRA施設内で確認された発熱馬頭数は524頭、うち陽性馬は193頭。

(地方競馬全国協会および日本中央競馬会からの報道による)